

孤立死防止等ネットワークだより

つながる

2024年
11月号



孤立死防止等ネットワーク

少子高齢化や核家族化の進展、さらにはコロナ禍での生活をきっかけに、社会とのつながりが薄れ、誰にも気づかれないまま亡くなっていく「孤立死」が問題になっています。

会津若松市孤立死防止等ネットワーク（事務局：市地域福祉課）では、地域から孤立することによる孤立死や、犯罪・事故の防止に向け、市内24企業・団体と市、会津若松警察署が協力し合い活動しています。

協力事業所の皆さんの主な取組

- ▶ 新聞や郵便物などがたまっているなど、異変発見時の通報
- ▶ なりすまし詐欺など、事件・事故発見時の通報
- ▶ 孤立死や事件・事故の防止に向けた広報活動



お城ボクんのステッカーが協力事業所の目印！

孤立死防止等ネットワーク協力事業所の皆さん

若松ガス株式会社	福島県LPガス協会会津支部
福島民報社会津若松支社	福島民友新聞社若松支社
読売民友会津支部	株式会社タカナシ
会津ヤクルト販売株式会社	明治会津南宅配センターミルクハウス
明治牛乳池上商店	酪王協同乳業株式会社会津営業所
会津信用金庫	会津商工信用組合
ヴェオリア・ジェネッツ株式会社	日本郵便株式会社会津若松郵便局
東北電力ネットワーク株式会社	生活協同組合コープあいづ
会津若松電力センター	明治安田生命保険相互会社郡山支社
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	合同会社たいよう
アルファクラブ株式会社	株式会社顯幸
有限会社こもれび倶楽部	かわちや株式会社
有限会社西若松販売センター	

- ▶ 市では、本ネットワークにご協力いただける事業所を募集しています。詳細については、市地域福祉課までご連絡ください。

団地のサロンでつながる

年貢町団地集会所を利用して活動している地域サロン会「ひまわり広場」では、いきいき百歳体操やものづくり、門田小学校でのあいさつ運動などの活動を行っています。年貢町団地には、一人暮らしの後期高齢者が多く住んでいることから、住民同士の交流や助け合いを大事にしています。



齊藤 久美子 さん

東京電力福島第1原子力発電所の事故により大熊町から本市に避難。現在は、ひまわり広場の代表として、地域の高齢者支援を行っている。

◎ 地域サロン活動を始めたきっかけを教えてください

団地で孤立死が発生した時期に父親から言われた、「一人暮らしの人は一日中一人で話し相手がないし、アイスを買っても家に着く前に溶けてしまう。久美子が各戸を回って、安否確認をしながらアイス配りをしてきてはどうか。」という一声がきっかけでした。

その後、お茶飲み会を皮切りにひまわり広場を始めてからは孤立死は起きておらず、活動の成果が表れています。

◎ ひまわり広場の特徴はありますか

団地の集会所を利用して活動する地域サロン会だということです。団地には一人暮らしの人も多いですが、支え合って生活しています。ひまわり広場が支え合いのきっかけになっていることが嬉しいです。

また、ひまわり広場は、大熊町から避難してきた人が多い団地の住民と以前から市内に住んでいる人が一緒に活動しており、つながりが広がっています。

📢 ひまわり広場の参加者に聞きました

ひまわり広場が、おしゃべりをしたり生活のさまざまなことを相談したりする場になっています。

月に一度の食事会では、齊藤さんが用意してくれるたくさんの品数の食事とビンゴ大会を楽しみながら、皆で和気あいあいとした時間を過ごしています。

震災後に避難してきたときは不安でしたが、今はこの団地で家族のような仲間ができて楽しいです。

出かけるときは、仲間が心配しないように、一声かけるようにしています。



手首や足首におもりを付けてゆっくり動かすことで、運動機能が向上する「いきいき百歳体操」を行っています。体操の間には、お茶のみやおしゃべりをしてリラックスしています。

ひまわり広場では、あいさつを地域のつながりの第一歩にするために門田地区が取り組む「あいさつ運動」に参加しています。

子どもたちにあいさつ運動にもっと興味を持ってもらえるよう、門田地区のキャラクターである「柿笑門^{かきえもん}」の缶バッチをサロン活動で作成し、門田小学校の児童にプレゼントしました。

地域サロン会ってなに？

地域サロン会は、高齢者や子育てに不安を抱えたお母さんなど、地域のさまざまな人が身近な場所でふれあい、楽しく仲間づくりができる活動の場です。

お茶飲み会や体操、ゲーム、勉強会など、参加者が楽しめるさまざまな活動を行っています。



あいさつ運動の中心である生活委員会の皆さんに贈呈しました

ラジオ体操でつながる

城北地区で活動している地域サロン会「サロン寺子屋」では、年齢や住んでいる地域に関わらず誰でも参加できるラジオ体操を実施することで、健康増進と地域のつながりの強化を図っています。

サロン寺子屋では、夏の間に近所の神社で、ラジオ体操を開催しました。多いときには、子どもから高齢者まで約30名もの人が参加しました。

参加した人からは「近所の人に子どもの名前を覚えてもらえた」、「ラジオ体操への参加を互いに確認して、近所の人との会話のきっかけにしている」といった声があがりました。



子どもだけでなく、大人もラジオ体操の参加シールを集めて楽しんでいます！



気持ちいい1日の始まりです！



松村さんと孫の俊太郎さん

サロン寺子屋を運営している松村です。ラジオ体操は、運動や見守りの場になっているほか、子どもたちにとっては町内の活動を知る場になっています。

このような行事を開催し、活動内容をお知らせすることで、ラジオ体操に来る

ことができない人にも、町内のみんなでつながろうとしている気持ちが伝わればいいなと思います。

ラジオ体操の後には、地域の人が持ってきてくれたコーヒーやお茶でお茶飲みをして楽しいですよ。

除雪支援から始まった見守り



町内行事が多く、住民同士のつながりが強い行仁地区の八角町内会では、除雪支援のための要支援者の把握がきっかけとなり、町内会役員による見守りが始まりました。

町内会庶務の小椋さんは、支援を必要としている渡部さんを見守って

いて、自宅を訪問し、デイサービスのノートを見ながらお話をしたり相談に乗ったりしています。

渡部さんは町内会役員を長年にわたり努めていたため、町内のためにやってきたことが返ってきている感じがするそうです。



談笑する小椋さん(左)と渡部さん(右)

協力事業所の取組を紹介します



孤立死防止等ネットワーク協力事業所の活動を紹介します。

介護タクシーや訪問介護の事業を行う「合同会社たいよう」は、日々の業務の中で孤立死の防止等に取り組んでいます。

孤立死防止等ネットワークの活動を開始して4年になります。

利用者様とは、できるだけ多く会話することで、楽しい時間を過ごしてもらえよう心がけています。

ここ数年の間に、持病があり自宅で療養されている、50代から60代の利用者様の孤立死が何度かありました。また、一人暮らしの高齢者は、体調の変化に気がついていないことも多いです。送迎時には、異変がないか注意深く確認しています。

このほかに、猛暑が続いたときや大雨が降った後には、利用者様が心配なので、電話をかけて安否の確認を行っています。



合同会社たいよう代表の成田香里さん

異変を感じたらご連絡ください

地域ぐるみの見守りが、孤立死の防止につながります。近所の人の様子が、日常と明らかに違う状態の場合、異変のサインの可能性があります。

レベル1（認知症の疑い）

- ▶ 同じ話を繰り返す。話のつじつまが合わない。
- ▶ 汚れた服、違う季節の服を着ている。
- ▶ 極端に痩せたり、異臭がしたりする。
- ▶ 同じものを一日に何度も購入する。支払いを間違える。

レベル3

- ▶ 窓から倒れている姿が見える。
- ▶ 家からいつもとは違う異臭がする。

レベル2

- ▶ ポストに郵便物や新聞がたまったまま。
- ▶ 夜中にいつまでもテレビの音が聞こえる。
- ▶ 昼もカーテンや雨戸が閉まったまま。
- ▶ ペットが衰弱、鳴き声がいつもとは違う。
- ▶ ごみの収集日なのに見かけない。
- ▶ 昼も電気がついたまま。または、夜になっても電気がつかない。
- ▶ 洗濯物が干したまま。
- ▶ 回覧板が戻ってこない。
- ▶ 買い物に来なくなった。



このような状況を見かけたときはご連絡ください

- ▶ レベル1 市高齢福祉課へ（☎39-1290）
- ▶ レベル2 市地域福祉課へ（☎39-1232）
- ▶ レベル3 消防署（☎119）または、会津若松警察署へ（☎22-5454）

インターネット相談窓口「あいまるLINE」

LINEで気軽に福祉のことを相談できる「あいまるLINE」がスタートしました。社会福祉協議会の相談員がチャットで相談に応じます。どこに相談していいのかわからない、いきなり窓口に行くのは抵抗があるといった場合なども、ぜひご利用ください。



▶ 問い合わせ 会津若松市社会福祉協議会 ☎28-4030

生活サポート相談窓口



経済的に余裕がなく生活が苦しい、失業して今後の生活が不安、家族や近所に家にひきこもった人がいて心配など、生活上のさまざまな問題の相談や支援を行っています。

▶ 問い合わせ 市地域福祉課 ☎23-4800

家族とのコミュニケーション

離れて暮らす親族と、電話やメールなどで連絡を取り合うことで、日常生活の異変を感じてもらえます。また、スマートフォンやスマートウォッチ、見守り機能のある電気製品には、転倒して動けないときに家族に自動的に連絡したり、健康状態を家族や福祉サービス事業所などと共有できたりする機能やサービスがあります。このような機器を使うことで、異変を簡単に伝えることができます。

近所の人とのコミュニケーション

近所には、皆さんを見守っている人がたくさんいます。旅行や親族の家への滞在、入院などにより自宅を離れるときは、新聞などの配達物の一時停止の連絡や、いつも訪ねてくる民生委員や共生福祉相談員、近所の親しい友人など、周囲の人に一声掛けるようよろしくお願いします。



孤立死防止等ネットワークだよりつながる

発行 孤立死防止等ネットワーク事務局 会津若松市役所地域福祉課 ☎39-1232